**●●●●●●に関する研究**

日本社会事業大学大学院

社会福祉学研究科

博士前期課程1年　●●　●●

１．研究目的及び意義

研究の背景や目的・意義等を記載。なお、この文章はあくまでも例を示したものですので、記載内容等は申請者ご自身でお考えになってください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

２．調査方法

　調査方法等を記載。なお、「研究倫理審査チェックポイント（以下、チェックポイント）」などを熟読したうえで作成してください（チェックポイントには、「得る情報の内容・取得方法、実施方法」、所要時間・場所等について記載することとあります）。

また、チェックポイントには「面接法・観察法で録音、メモ、撮影等を行う場合はその説明もすること」とあります。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

３．倫理的配慮

　例えば、チェックポイントには以下の内容は記載することとあります。

1. 秘密保持、および目的外使用をしないことの保証
2. 協力の任意性、協力を拒否しても不利益がないことの保証
3. 同意撤回による不利益がないことの保証
4. プライバシー保護、名簿・データ等の管理に関する説明
5. その他、必要事項

※上記の事項はあくまでも例ですので、個別の研究課題ごとにお考え下さい

４．【研究結果の利用方法・発表の方法】

　研究結果の利用方法・発表の方法を具体的に記載する（どの学会で報告するのかについて、具体的な学会名を挙げて説明すること）。

　※チェックポイントには「博士論文の場合、リポジトリや書籍化を通した公刊予定があることを明記すること」とあります。

５．本研究の実施主体・お問い合わせ先

（調査責任者）日本社会事業大学大学院　社会福祉学研究科　博士前期課程1年　●●●●

（指導教員）日本社会事業大学社会福祉学部●●　●●●●

（住所）〒XXX-XXXX　○○○○○○○○○○○○○○○○

（連絡先）＜E-mail＞○○○○○○○